

# 冬の満洲

## 満洲の冬と保育の實際

大連市譚家屯幼稚園 小山田 節

### 一、満洲の冬と幼児の健康問題

満洲育ちの壯丁の體位が著しく悪かつたこと云ふ憂しい事實の前に、其原因は遠く乳幼児期の健康の問題であつて、衣食住の全般に渡ると思ふのでありますが主として満洲の冬籠りの不自然な屋内生活が及して居る事實は等しく認められ、満洲の氣候風土に適應した生活をしなかつたこと云ふ事が判然として参ります。満洲土着の支那人の健康は、誠に不衛生であり且粗食でありながら強健なる體力の保持者であります。勞働者に於ては何處の國も及ばないのでせう。最近公學堂生徒(州内滿人小學生)のツベルクリン反應検査に於て胸部の異狀が殆んどなかつたこと申します。

満洲の冬の寒さが健康を害うものでなく、満洲は健康地

ださへ専門家の方々は申されて居ります。日本人が其土地の氣候風土に適應したる生活様式に改めなければならぬこと云ふことは強く叫ばれつゝあるのであります。祖國の四季の變化眺め麗しき氣候風土の中に養はれた私共が、一度殺風景な廣漠たる満洲に移り住みて三十年餘、ようやく目ざめて來たのですが、當時冬期は二重硝子煉瓦造の家屋を北側は目張りして、其の上室内温度を七十度も昇らせ薄着した家庭人はじじ籠つて十月頃から四月頃まで暮したものが多かつたのです。日用品食料品でも求めに外出せずとも運んで呉れるし、終日外出もせず、日本より暖くて婦人は暮しよいこと云つて過したのです。冬の食物は肉食に傾き野菜が少く、甘いものが豊富に取られる等、生れ出づる

乳兒が脚氣になり腺病質となり結核の多くなるべき素質が養はれたわけです。滿洲育ちの幼兒が病氣にかゝりやすく氣管枝炎、肺炎、腸炎にかゝらない幼兒が稀な位でしたのですのも當然です。南滿保養院長の遠藤博士が強く底溫生活冬籠りの解放を主張せられ五六年の間に變つて來たのであります、一般に健康狀態がよくなつた、今や非常時局下次代國民の體位向上の爲に學校家庭社會も相協力して進みつゝあるのであります。昨年結成されました健康報國母性聯盟の如きも其實行運動の現はれでありまして、其申合せ事項の中にも廻轉窓をつけませう、胚芽米食に致しませう、甘いものを少く致しませう、子供は夜八時以後は外出させない事に致しませう、かく實行的目標を定め個々の家庭に呼びかけて居る事は誠に結構な事でありませう。小學校の講堂に冬期に備へて換氣裝置が出來つゝあります。幼稚園としては是非備へなければならぬと思ふのであります。

冬の戶外運動目覺しく盛んになつて來ました冬期になるに幼稚園の出席が少くなつたものですが近來は病氣の外餘り休まなくなつて來ました。幼い子供達もスケートや凧揚げを見る様になりつゝあります。寒さに強くなつた冬の戶外生活が實行されて來ました。特別なる日の外は天窓を開放したまゝ冬を過し得らるゝ様になつて來ました。冷下十二度の冬の日、中等學校へ通つて居ります宅の子供なき裸

體操を學校で續けて居りますが健康になつて風一つ引かないのであります。誠に今昔の感に堪へません。幼稚園兒が雪の日には戶外遊びをして雪達磨を作る事は度々あります。

## 二、保育の實際としての冬

一口に滿洲に申しても範圍が廣く大連からハルビン迄例のアジアに乗つても廿四時間を費しますのですから、一番寒い時期は一月二月で十二月や三月は冬云ふ内には入らないと思ふ程です。其最も寒い時期の平均氣温は冷下で大連は五六度、奉天は十二三度、新京は十五六度、ハルビンで十七八度でせう。大連でも冷下十四五度に下る日が一年に數へる程ありますが同じ氣候の日本の秋田あたりよりすつと過しやすいと申します。それは大陸的氣候で三寒四温であるからであります。今年の元朝の如きは二千六百年を意義あらしめる如く大連神社頭は参拜者引きもきらず實に暖い興亞日和でした。婦人もコート無しで參道に、物賣る番人も防寒の用意もなく平氣でした。街上に子供は凧揚げが出來ました。私共の園が大連の郊外の住宅街の大佛山の山麓に在るが爲に特に多くの自然に恵まれて居る爲でもあるのですが、今年なき此暖い日の山登りが十二月に入つてきへ出來たのであります。

三月の聲がかゝるに陽氣がすつと變つて來ます。日當りのよい窓下なきでは芝生の芽ぶきを見出す事が出來ます、

子供達は青い芽を非常に喜んで探し廻ります、かくして滿洲の冬籠りはなくなつて來つゝあります。

### 三、冬の保育と保姆の細い心構へ

何と云つても寒い事は確かな事實ですから此三寒四温を巧に擒へて保育の實際に取り入れ然して幼児の健康生活への道程には多くの注意親切なる心構へを持たなければならぬのであります。今少し個條書にして見ませう。

(一) 冬を迎へる間の大きな準備となるものは初秋より晩秋にかけて幼児の健康を増進せしめて置く事が大切なのであります。新鮮な空氣三日光ミ土に出来るだけ親しませる事であつて、許す限りの範圍に於て山登り郊外保育遠足散歩等を多く取り入れるのであります。滿洲の秋の保育は一年中最もよい時節であつて(春は非常に悪い)幼児が遊んでもくつきない保育時間なき常に延び勝ちでお歸りの時間を厭ふ位に楽しい遊びがつゞけられるのであります。

(二) 暖房の設備の注意、何時に寒さが來てもよろしいだけに準備して置く事です。スチーム温水なき危険性の多い場所は圍を準備しストーブでしたらやはりかこひの修理等を注意して置く事です。石炭なきも豫め充分に買ひ入れて置く等の事も注意を要します。

(三) 出来るだけ寒さに堪へる習慣をつけて時期を遅く焚き始める。急に全部を暖かくせず寒い室もあつてよろしい

と思ふのです。幼児を慣らして行く注意をします。(今年なき十一月の末から本格に焚き出しました)

(四) 三寒四温をよく擒へてお空のお日様と相談して氣温に依りて調節を致します。幼児を戶外に出して外の空氣になれしむる。寒い日は外套を用ひて暖かい日は室内のまゝにて、戶外歩行や運動の時間は非常に寒ければ四五分位で暖ければ南側の陽當りでひなたぼっこやラヂオ體操もする。

(五) 室内温度の平均は六十度ですが活動力の強い幼児には六十度は暖か過ぎて汗をかきますから五十五度位から上らない方がよいと思ふ。

(六) 室内の換氣は非常に大切で保姆は常に空氣の動きに注意しなければなりません。寒い日でも朝は窓を開放して空氣の交換をする、食事の前に又開ける云ふ風に直接的に風の當らない場所の小窓や天窓を常に開けて置くか又は換氣裝置を望しいのです。

(七) 室内の湿度を保たせる爲に暖房ストーブの上に水槽等を置く事を忘れない様にします。

(八) 室内の清掃は殊に滿洲は塵埃が立ちやすいため幼児出園前、夜の内に沈んで居たほこりをはかずに布箒で靜かに拭き取る事です。晝食前又布箒をかける、是は冬中だけでなく實行致して居ります。

(九)お辨當を冷さない様に温か過ぎない程度にストーブを利用して設備して居る事は皆實行して居ると思ふのであります。冬だけでも給食を實行したいものであります。

(十)小鳥、金魚、植木鉢、ゴム、シャボテンなど寒さに弱いものを暖い場所へ置き換へるなど保育の内容も大變關係を持つものにして大切にしたいと思つて居ります。

(十一)一月から朝の出園時間を十時頃にして幼児の通園時を少しでも暖く室内も温めて置き午後の時間を延ばします。

(十二)身體的に幼児の筋肉運動の自發性に満足を與へる上についての保育上の注意方法を考へる事をおこたらない事。活動力の強い幼児が秋から冬に入つてから運動の不足を感じる事は甚しく目立つものです。飛びたい走りたいたい力を入れたいこの自然の要求を只室内に靜かにこのみ、紙芝居やお仕事などに傾かしめる事であつて満足なるべき運動をせしめなければ、冬になるに常と思ふのです。

(十三)寒い途中泣きそうな顔の泣きながら來るのもあります。出園兒を迎へる保姆の心はやさしく心から寒かつた強かつたネ、オーバを取つてやる手をさすつて温めてやる是等一つ一つの實際は數多くあると思ひます。今日は餘り寒いから止める母の手を離れて先生に會ふ樂しみは冬の保育の上に大切な事柄の一つであります。日本の子供

は寒くはない強いよ、負けないうよ、兵隊さんは寒いでせう、是等の先生が與へる暗示も可なり強く幼児に響く。

(十四)お母様も冬に入る前に御懇談の會を催して寒さに堪へる衣食の問題について話し會つて置く事も行事の一つであります。

(十五)支那のお正月を迎へる頃が寒さの最高でせう、日支親善の對話や方法が考へられて保育の内容に取り入れられるのです。

(十六)二月の自然が淋しい中から温室咲きのシクラメンやフリヂヤ、シネラリヤの美しき花の香をたゞよはせて室内を飾り保育をうるほはせるのも滿洲の冬の樂しみの一つです。

二千六百年の輝かしい元旦の曉ラヂオは私の魂のあるものにふれさせて呉れました。それは聖地旅順に御造營中の關東神宮奉仕の槌の音も其祈りでありました。嚴かな心に返り興亞の一角に強く立ち祖國の爲に奉仕させて頂く私共の責任を感慨深く銘したのであります。永しへに日本精神の礎は築かれて行く喜びを思ひつゝ稿を終ります。